



2023年度版

新型コロナウイルス感染症は5類感染症になりました

2023年5月8日から

感染対策は個人・事業者の判断が基本となります

..... 引き続き、以下の対策は有効です

換気

●換気の方法として「機械換気(24時間換気システムや換気扇)」または「自然換気(窓開け)」があります。

手洗い・手指消毒

マスク着用

●重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、以下のような場合にはマスクを着用しましょう。

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時

通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合があります。

- ◆症状がある場合に外出をする際は、人混みは避け、マスクを着用しましょう。
- ◆事前にコロナ抗原検査キットや解熱剤などの常備薬を準備しておく安心です。

新型コロナウイルス感染症が、季節性インフルエンザと同じような扱いに！

長かった、「コロナ対策」・・・3年間いろいろな制限や対策がありました。やっと解放されます。ですがコロナウイルスが、いなくなったわけではありません。何が変わったのか、これからの学校生活で気を付けることなど、みんなに知ってほしいことをまとめてみますね。

○何が変わるの??

- “濃厚接触者” の特定が行われません。
同居家族や感染症対策を行わずに飲食を共にした人が陽性になったとしても、体調不良等の症状がなければ、自宅待機をする必要はありません。登校しても大丈夫です。
- 自宅待機（出席停止）期間が短くなります。
新型コロナウイルス感染症陽性になった場合は、“発症した後 5 日を経過し、かつ、症状が軽快した後 1 日を経過するまで” となります。出席停止が解除されたあとも、発症から 10 日を経過するまではマスクの着用をお願いします。
- 普段の学校生活でのマスクの着用は求められない
学校生活のどの場面でも、マスクの着用は基本的に必要ありません。ただし、咳やくしゃみなどの症状がある場合などは、咳エチケットを行うようにお願いします。また、給食当番が当たっているときは、マスクが必要です。忘れないように準備してください。

○また、流行ってきたらどうなる??

- 感染流行時には、感染症対策として、マスクの着用を促したり、感染リスクが比較的高い活動の場面に応じて、大声の発生を控えたり、距離を確保するなどの対策を一時的に講じることがあります。
- クラス内での感染が広がっている場合には、これまでと同じように、臨時休業（学級閉鎖）などが実施されます。

大事なものは、日頃からの体調管理と感染症対策☆

- 毎朝の健康観察
登校前に、自分の体調を確認！発熱や咽頭痛、咳などの普段と違う症状がある場合には、無理をせず、自宅で休養するようにしてくださいね。寝不足は体調不良の原因になるので要注意！
- 教室などの換気
気候の良い時は、常時。真夏や真冬など常時開けることが難しい時はこまめに。対角の窓や扉を開けて、きれいな空気と入れ替えましょう。
- 手洗いなどで手を清潔に
外から教室に入る時や、トイレの後、昼食の前後など、流水と石けんでのこまめな手洗いを！しばらくは消毒用のアルコールも設置したままにしますので、必要な時に使用してください。

